

# 強い家ってどんな家？ ～その1-家を守る屋根のこと～

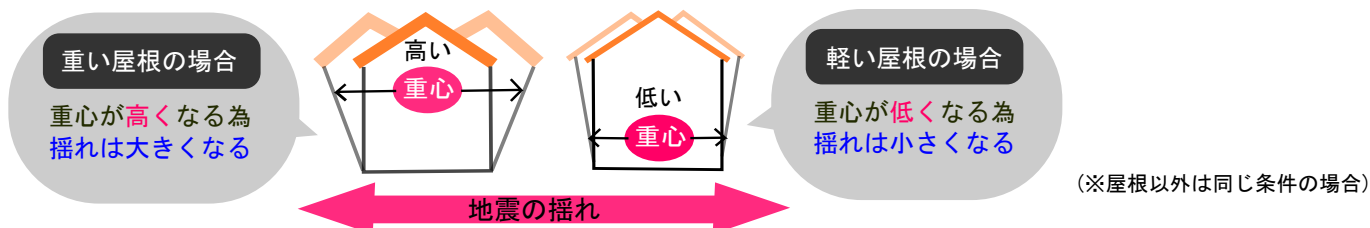
1. 耐震性能と屋根
2. 軽い屋根の落とし穴!?
3. 強い構造=耐震性能だけではない!

## 1 耐震性能と屋根

「強い家（強い構造の家）」とはどんな家をイメージされますか？

よくイメージされるのは「地震に強い家」でしょうか。確かにそれも「強い家」の要素の一つです。でも「強い家」ってそれだけではないんです！

地震に強くする（今回は耐震性能を高くすること）ためには、例えば屋根を軽くして重心を下げるなどの方法があります。



重心が低いほど、地震による揺れが少なくなるので建物が倒壊する確率が下がります。

最近ではこの屋根の軽さを応用して耐震性能をよくする工務店やハウスメーカーも見られます。

※重い屋根でも構造躯体が頑強であれば、耐震性能が高い家はできます。

では、軽い屋根より重い屋根の家の方が強い家と言えるのでしょうか？

## 2 軽い屋根の落とし穴!?

屋根は建物の上部をおおうという役割から、防雨・防風・遮熱・遮音などさまざまな機能が求められています。

屋根の寿命（太陽光・雨水・風・気温変化などによる劣化や損傷）を左右するものとしては「**耐候性**」が重要になります。

〈主な屋根材の特徴 ※内容はあくまで目安です〉

|         | 瓦<br>(セメント瓦・モニエル瓦 等)      | スレート系<br>(天然スレート・化粧スレート 等)              | 金属系<br>(ガルバリウム鋼板・瓦棒 等) |
|---------|---------------------------|---|------------------------|
| 重量      | 重い                        | 比較的軽い                                   | 非常に軽い                  |
| 寿命(耐候性) | 50~100年程度                 | 25~25年程度                                | 30~50年程度               |
| メンテナンス  | 基本的には不要<br>漆喰部分は必要        | 色あせ、苔、カビが生じやすく<br>定期的に塗装が必要<br>衝撃で割れやすい | 衝撃で凹みやすい<br>基本的には不要    |
| 性能      | 耐火性、防錆性、耐熱性<br>保温性、防音性が高い | 耐火性、防錆性が高い<br>断熱性や防音性は低い                | 防風性は高い<br>防錆性や防音性は低い   |
| 目安価格/㎡  | 8000~1万円                  | 5000~7000円                              | 6000~8000円             |

耐候性：  
太陽光・雨水・風・  
気温変化などに対する  
耐久性のこと

屋根は種類によって、性能や価格帯が異なります。

軽い屋根は、耐震性能を高めるために応用できたり建設時の費用がおさえられるなどのいい面がありますが、重い瓦屋根などと比べ傷みやすかったり、それによってメンテナンスに費用がかかってしまったりと落とし穴がある場合も・・・それぞれの特徴を知った上で、素材を選べるといいですね。

## 3 強い構造=耐震性能だけではない！

強い家とは「地震に強い」ことがまず思い浮かぶ方も多いかもしれませんが、この屋根のお話のように、地震に強くてもそれ以外の重要な役割が果たせなくては長く住み続けることはできません。耐震性能に加え、家い使う素材の耐久性や、どこにどの素材を使うべきか、メンテナンスのしやすさなど、実はいろいろな要素が組み合わさって強い家はできているのです。

家を建てるときはさまざまな視点から賢く家を建てましょう。

※ セミナーでは上記の様な各テーマで説明を行います。